

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮崎県えびの市 えびの市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
17,067	3,456	第2種該当	-	15：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
39	-	39

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、市内で唯一地域包括ケア病床を設置する病院として、地域の医療機関等との緊密な連携による患者受入れや地域包括ケア病床の運用による入院患者の最適な在宅復帰支援に力を入れています。また、市内で唯一の救急告示病院としての機能を持ち、救急自動車搬送や時間外の患者受入を365日間実施しています。加えて、特定・長寿健康診査、人間ドック、各種がん検診、予防接種等を実施、市民の健康づくりを担うとともに、発熱外来患者の検査等にあたっては、感染症予防体制を維持しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経営収支比率②医業収支比率がいずれも100%未満であり、また、⑨累積欠損金比率が上昇、高い状況にあり、非常に厳しい経営状況となっています。
④病床利用率について、近隣医療機関等との連携、レスパイト入院の受入等を積極的に行ったことにより改善が図られたものと考えています。
⑧材料費対医業収益比率においては、類似病院平均を上回っている状況が続いていますが、ジェネリック医薬品の採用促進等により小幅ですが年々減少傾向となってきています。

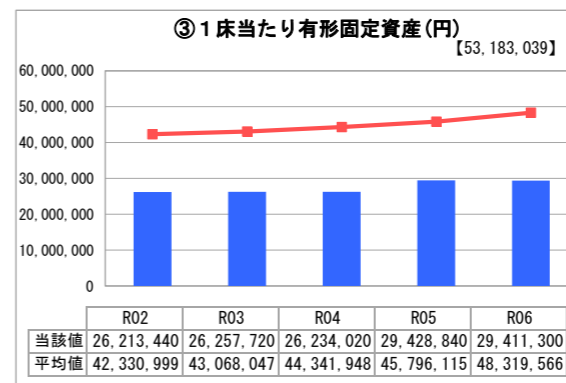
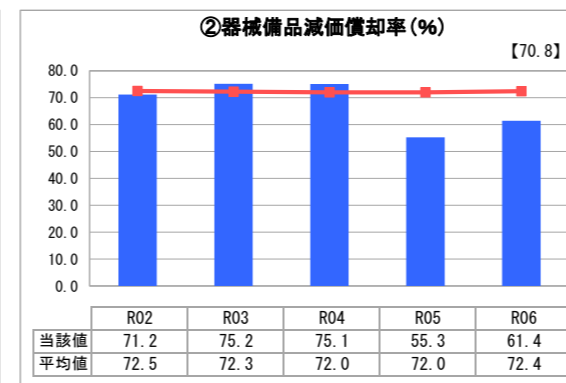
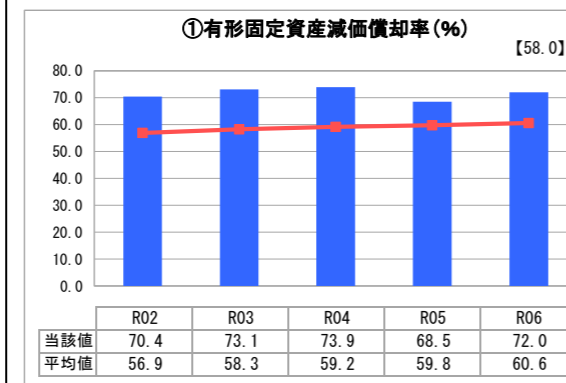
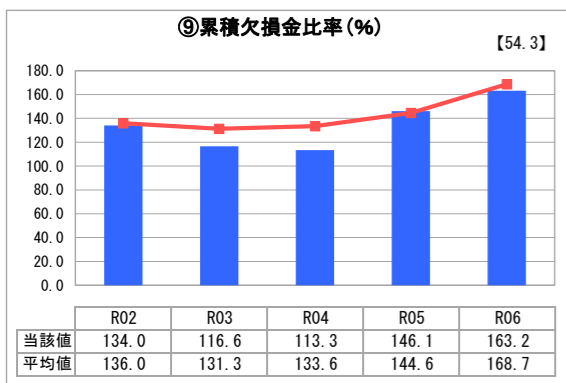
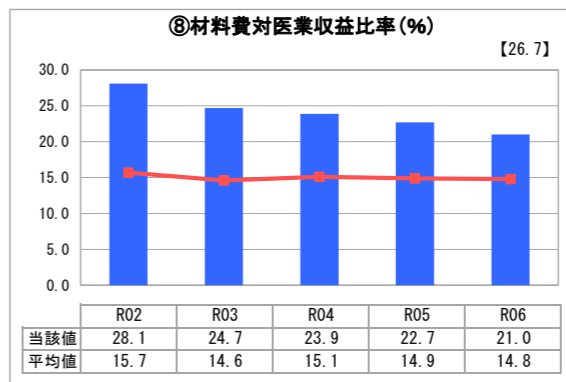
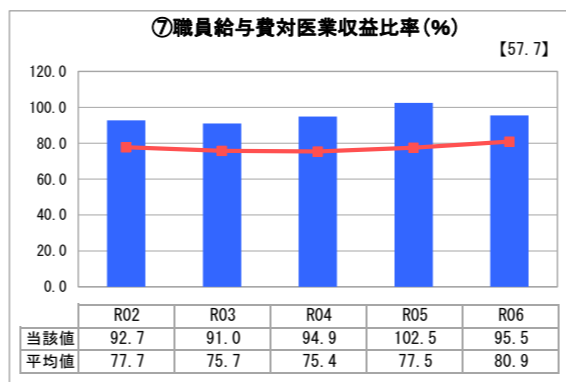
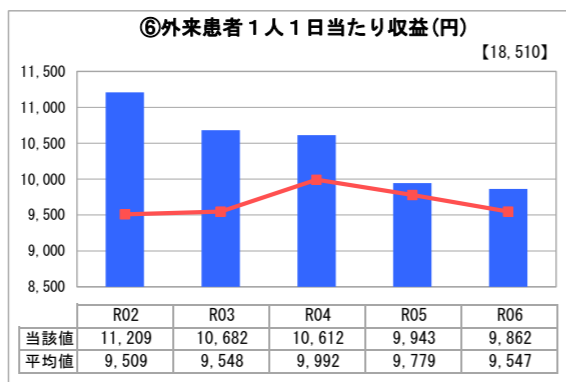
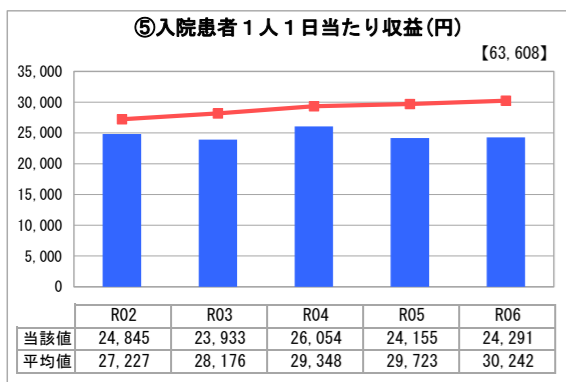
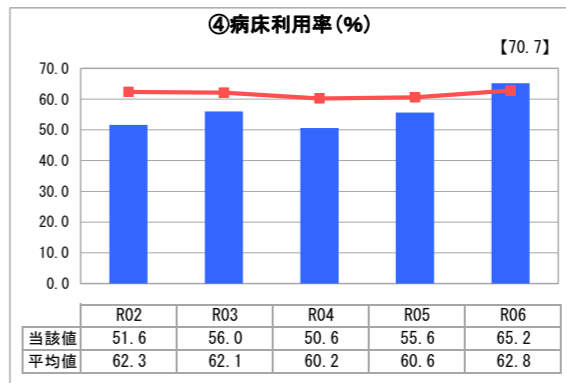
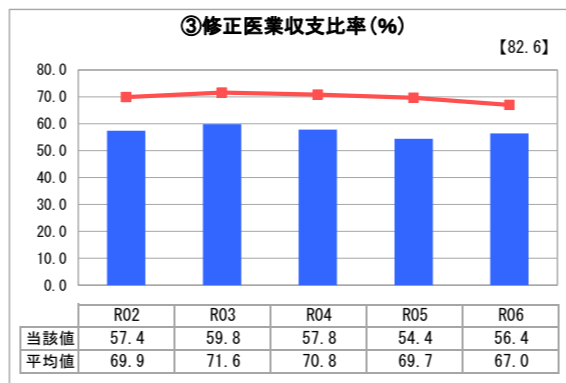
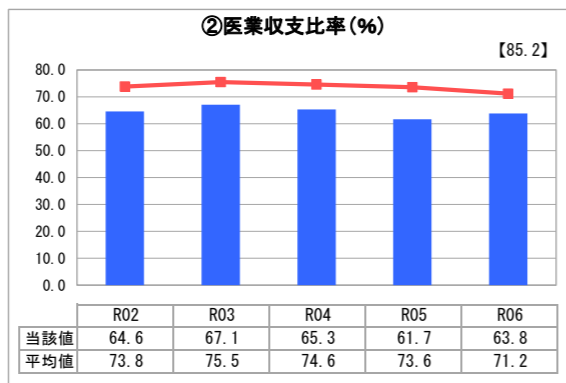
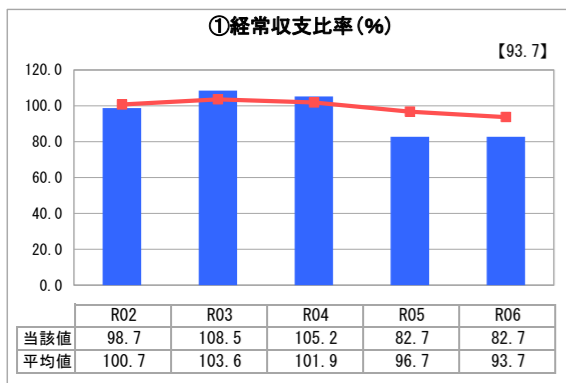
2. 老朽化の状況について

施設については、昭和53年7月の建設から47年を経過、耐震基準は満たしているものの老朽化に伴う破損等が年々増えてきています。しかし、根本的な改善は厳しく、その都度の修繕による対応となっています。
医療機器等については、優先度や緊急性の高いものから更新又は導入を図っていますが、必要性等を十分に踏まえた上で診療に支障を来すことがないよう診療体制の維持に努めます。

全体総括

令和6年度は、人口減少が進む中、定期的なレスパイト入院の積極的な受け入れや近隣医療機関等との連携により入院患者が増加、医業収益の増収を図ることができた一方、近年の人件費・物価高騰による影響、また、令和6年4月から運用開始した電子カルテに係る経費等の増加により医業費用も増加、非常に厳しい経営状況が続いています。
病院経営、医療サービス提供において、最優先課題としている医師確保が長年困難を極めるなか、常勤医師に限らず非常勤医師を含めた医師確保により診療体制の維持、充実を図るとともに、老朽化が進む施設については、必要な修繕等は優先度や緊急性の高いものから実施するとともに、大規模な改修にあたっては、慎重に対応していきます。
引き続き、経営強化プランに掲げる各取組を推進するとともに、電子カルテ導入による患者サービスの向上、業務効率化等により持続可能な医療提供体制の確保に努めていきます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。